

長岡地区納税貯蓄組合連合会優秀賞

正しいルール

長岡市立東北中学校

三年 中村 悠河

税金とは、国民が負担する義務があり、みんな公平に支払うものです。ただし、収入が多い人も、少ない人も同じ額を納めれば良いというものではありません。

例えば、物を買う時に発生する消費税は、すべての人が同じ税率で、支払わなければなりません。しかし、所得税はたくさんの収入がある人には、高い税率が掛けられます。こうして集められた税金は、国や県、市町村の財政を支える重要な役割を持っています。

税金の種類は大きく、直接税と間接税、国税と地方税に分けることができます。直接税とは、所得税、法人税があり税を納める人と実際に税を負担する人が同じ税のことをいいます。間接税とは、消費税のように納める人と負担する人が異なる場合のことをいいます。次に国税とは、国に納める税で、地方税とは地方公共団体に納める税となっています。おもな税をもう少し詳しく説明すると、所得税は、個人の所得に対して課せられるものです。法人税は、法人の各事業年度の所得に課せられる国税です。固定資産

税は、土地、家屋、償却資産の所有者に対し、その価格を課税標準として、固定資産所在の市町村が課す地方税です。その他にも、相続税、住民税などもあります。

今回の課題に取り組むにあたって、税についていろいろ調べました。以前は、税に無関心で知識がなく深く考えることもありませんでした。今回調べてみると、道路や橋の建設など自分が知っていた税金の使い道もありましたが、それ以外にも、医療や教育、消防や警察、国の借金の返済にも使われていることを知りました。しかし、国民から集めた大切な税金が、無駄に使われたり、不透明な使われ方をしていてニューズを見ると、自分達は何の為に税金を負担しているのか意味のないように思いました。しかも、国民に対して真偽を伝えないうままあやふやになっている事が残念に思いました。みんなが安心して生活できるようにするには、正しい使い方をしてもらって、すべての国民が納得できるものにならなければならないと思います。私たち国民一人一人がもつと税への関心を高め、平等・公平な課税にするシステムを作ることが大切だと思えました。そのためには、しっかりとルールに基づいて税金が使われ、国や政治家はその使い道について説明責任を果たすとともに、私たちが使われ方をチェックしていくことも重要なことだと思えました。